

第5回

碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会

資料

平成30年12月6日

	A 案 (口字型)	B 案 (コ字型)
「コンパクトな施設づくり」	ゾーン分けによる機能的な施設配置とします。	
明確な動線計画	校舎中央に光庭を設置、各ゾーンを区分 低学年がラウンドへ校舎の西側より接続	校舎中央に低学年がラウンドを設置、各ゾーンを区分 低学年がラウンドへ校舎の西側より接続
低学年がラウンドの配置	校舎南側に配置 (50m×25m) 校舎南側に低学年用観察園と遊具スペース(15m×15m)を確保	校舎中央に配置 (50m×30m) 校舎南側に低学年用観察園と遊具スペース(15m×15m)を確保
「時代の変化に対応できる施設づくり」	将来の教育内容、方法の変化や児童・生徒数の減少等に対応可能な柔軟性の高い施設とします。	
多様な学習対応の平面計画	2階に特別教室ゾーンを集約(一部3階に分離配置)	2階に特別教室ゾーンを集約
「地域住民の集いの場となる施設づくり」	地域住民が気軽に教育活動にふれられる施設とします。	
立寄りやすい配置計画	交流広場をシンボルに正面のある外観可能(大きな雨避け屋根) 正門近くに図書や地域交流室の配置	正門近くに図書や地域交流室の配置
「地域コミュニティの拠点となる施設づくり」	地域住民が親しみやすい施設とします。学校開放施設として想定している施設(体育館、図書室、武道場)	
地域交流の居場所づくり	交流広場(半屋外)、地域交流室の近接 体育館、武道場、図書室を外部廊下と交流広場で接続	地域交流の居場所となる地域交流室を配置 体育館、武道場、図書室を外部廊下で接続
「安全・安心を守る施設づくり」	災害避難所として機能する施設とします。災害時に救援車両の進入や防災倉庫の設置など	
日常安全性の配置計画	1階に管理諸室を集約 光庭を設け学校全体の視認性を高める 車両進入路2カ所、来客動線は明確に分離(管理しやすい)	1階に管理諸室を集約 低学年がラウンドを設け学校全体の視認性を高める 車両進入路2カ所、来客動線は明確に分離(管理しやすい)
臨時駐車場の配置計画	低学年がラウンドと職員駐車場を集約、歩車動線分離	低学年がラウンドと職員駐車場分離、歩車動線交差

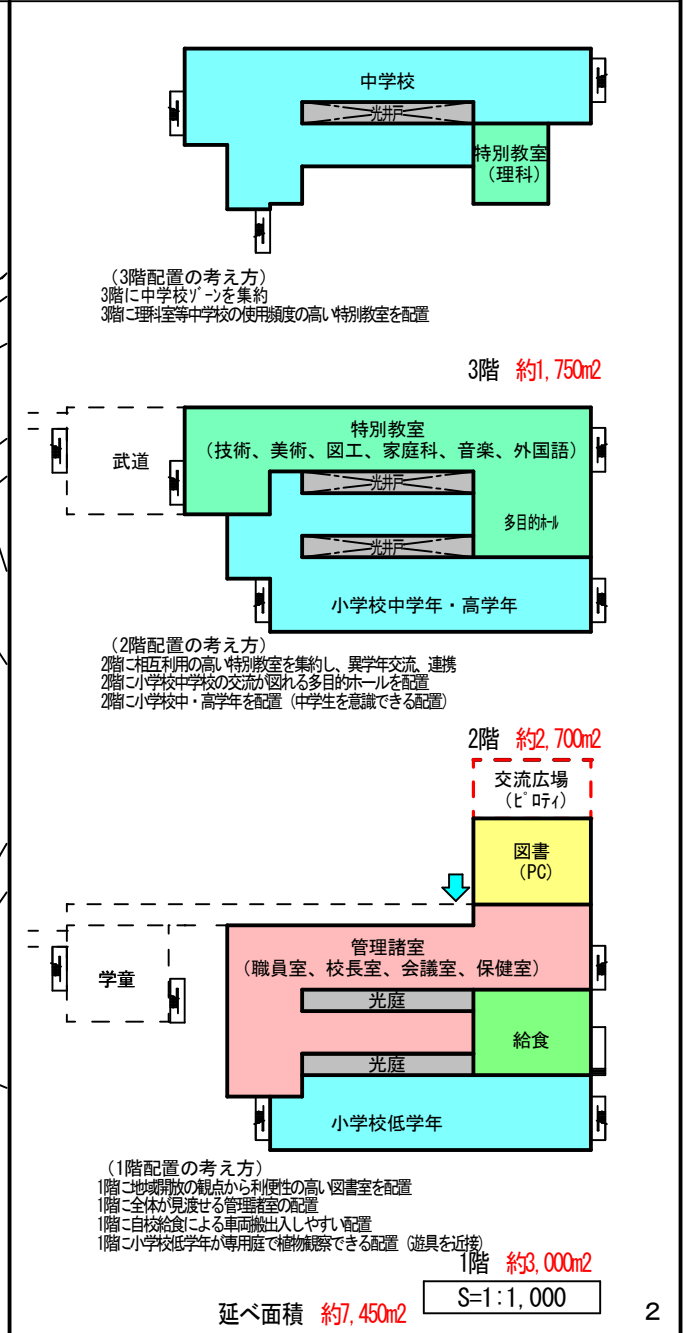
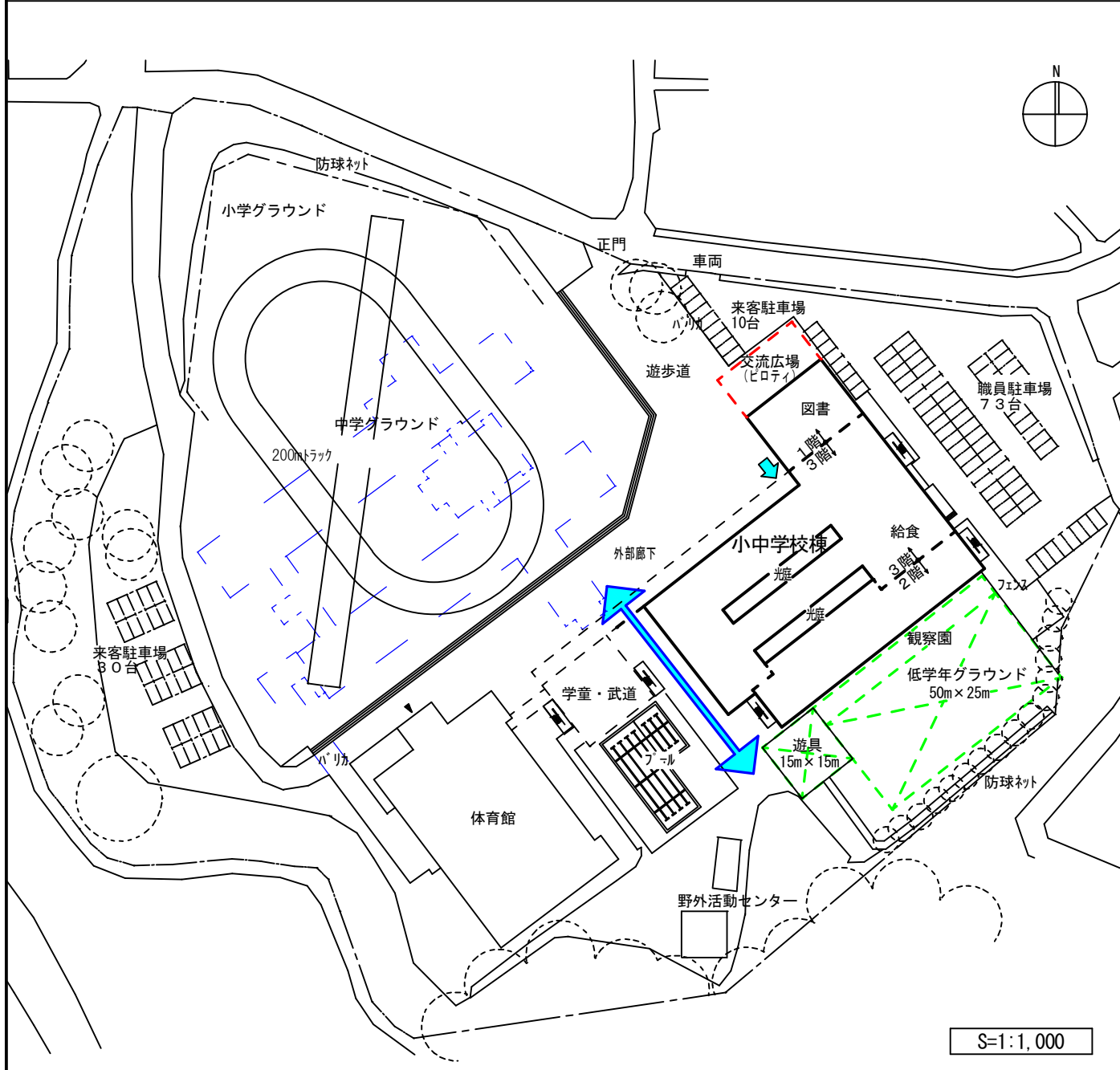
* 敷地下敷き図面は、施設台帳のトレース図の縮尺等に差異があります。

碓井中学校区の各階平面(案)について

A 案

口字型

3階建て



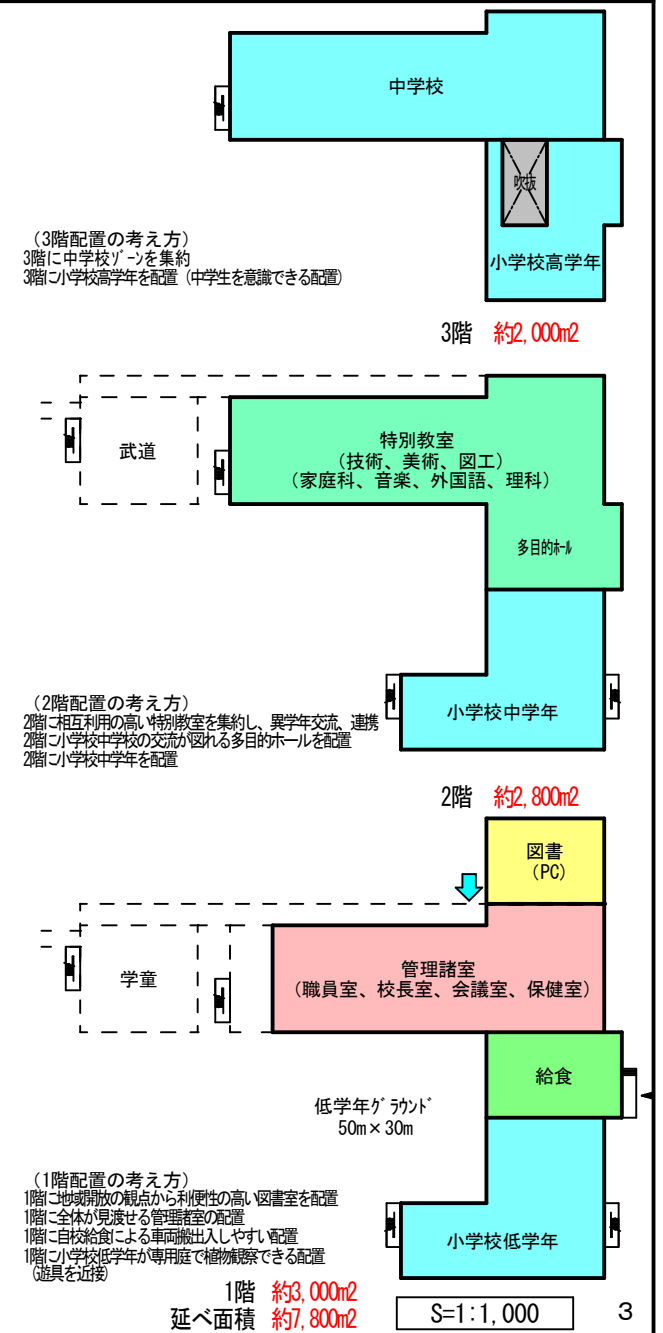
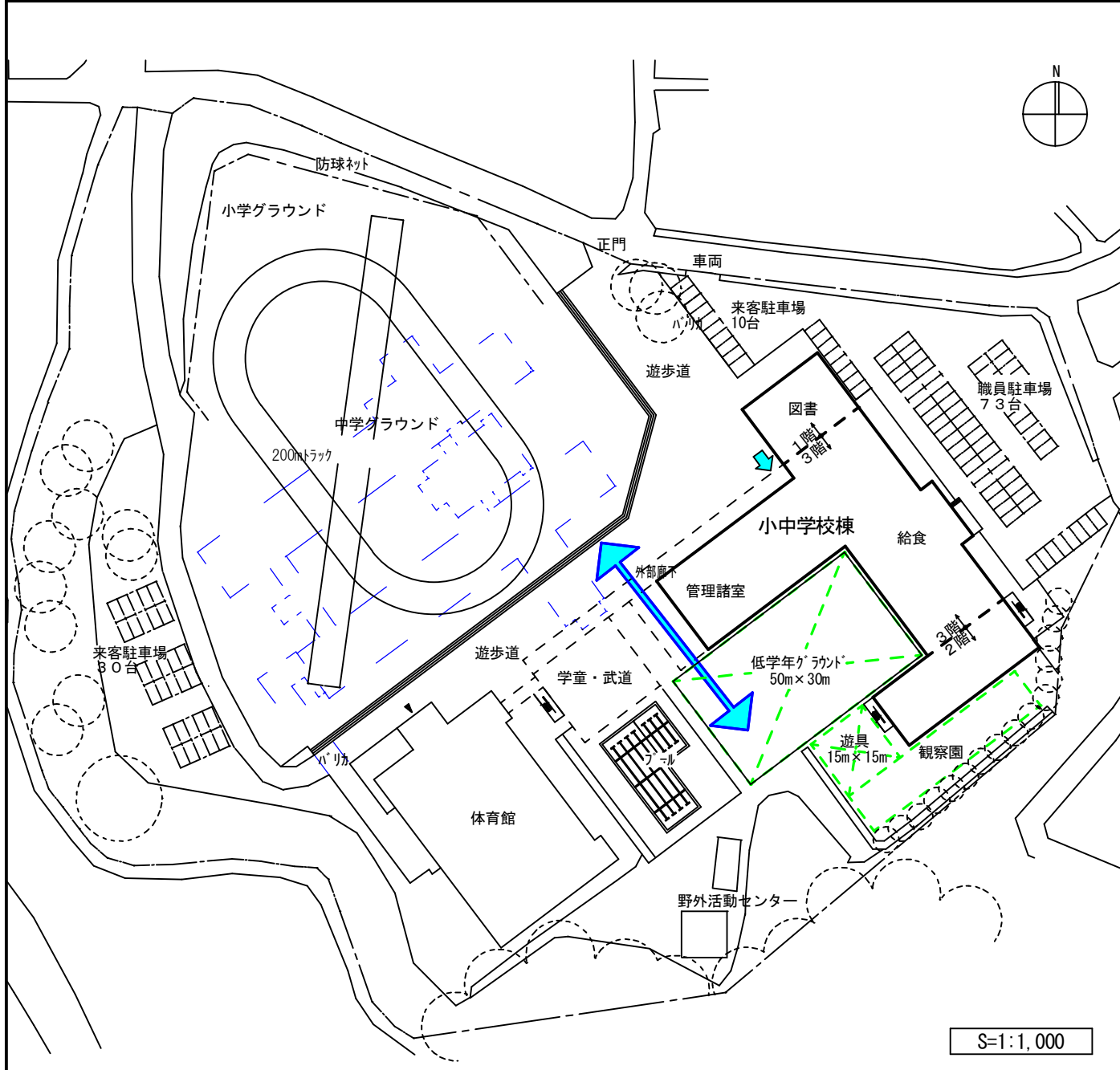
*敷地下敷き図面は、施設台帳のトレース図の縮尺等に差異があります。

碓井中学校区の各階平面(案)について

B案

コ字型

3階建て



*敷地下敷き図面は、施設台帳のトレース図の縮尺等に差異があります。